

平成 23 年 3 月 28 日

解禁日：平成 23 年 3 月 29 日 午前 0 時

報道関係各位

社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

平成 22 年度 クラウドコンピューティング研究会 報告書 公開 - SaaS/クラウドコンピューティング事業の取組に関する調査 - 「採算状況回答企業の約 4 割が採算分岐点を越えているか概ね採算分岐点に達する」

社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称：CSAJ、会長：和田成史 株式会社オービックビジネス
コンサルタント 代表取締役社長）のクラウドコンピューティング研究会（主査：山本祥之 株式会社イン
テリジェントウェイブ 代表取締役社長 執行役員）は、会員企業であるソフトベンダを対象に実施した
「SaaS/クラウドコンピューティング事業の取組に関する調査」の結果を公表しました。

この調査結果から以下のような点が明らかになりました。

- ・ 回答企業の約 4 割は採算分岐点を越えているか、概ね採算分岐点に達している。
- ・ 事業開始のための投資金額は半数以上が 3,000 万円未満であった。
- ・ ユーザへの課金体系では半数以上が定額制を採用している。
- ・ 3 分の 2 はマルチテナント方式の SaaS であった。

平成 22 年度 クラウドコンピューティング研究会 報告書

「SaaS/クラウドコンピューティング事業の取組に関する調査」（PDF/260KB）

http://www.csaj.jp/info/11/110324_cloud.html

本報告書はソフトウェアベンダの SaaS / クラウドコンピューティング事業に対する取組状況を提供カテゴリ、利用プラ
ットフォーム、ユーザ課金体系、投資額、採算分岐点など視点から把握する事を目的に実施し、研究会主査をはじめとした
メンバによって分析研究を加え、とりまとめたものです。

CSAJ クラウドコンピューティング研究会 主査 山本祥之

クラウドコンピューティングにより利用形態が変化している環境において会員企業を含むソフト
ベンダの SaaS ビジネスへの取り組み状況を今後も継続調査していきます。この調査情報により
SaaS ビジネスへの参入意欲が増加し、ソフトベンダの事業拡大に貢献できれば幸いです。

本報告書の主な内容は、以下の通り。

単純集計結果

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ・ SaaS 提供事業の有無 | ・ 事業のために参考にした情報源 |
| ・ 事業開始時期 | ・ 提供する SaaS のカテゴリ |
| ・ 利用する他社プラットフォーム | ・ 自社プラットフォームでの事業展開理由 |
| ・ ユーザへの課金体系及び単位（定額、従量） | ・ 事業への投資金額 |
| ・ 利用料金設定要因 | ・ 事業を始めた背景 |
| ・ 事業開始で心配/不安だったこと | ・ SaaS 向けソフトウェア開発方法 |
| ・ シングルテナント or マルチテナント採用 | ・ 採算状況（単月単位） |
| ・ 事業を実施しない理由 | |

（注）クロス集計結果（分析コメント付き）は非公開（本調査の回答企業のみ配布）

問い合わせ先

社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局 担当：鈴木 e-mail:gyoumu1@csaj.jp

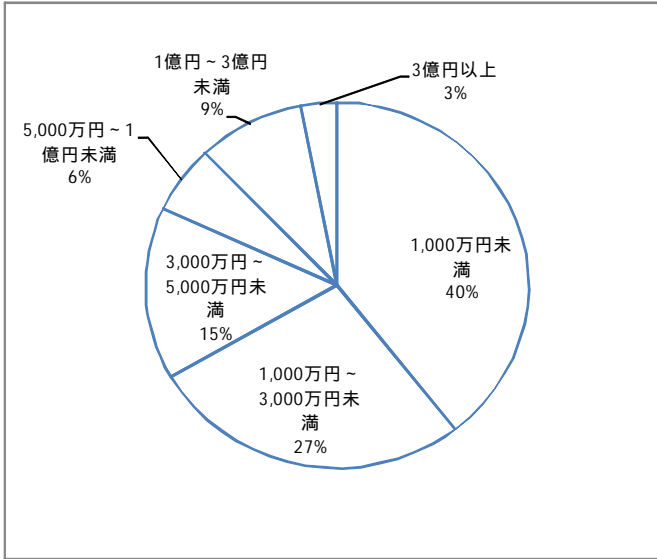
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館1号館5F

TEL:03-3560-8440 FAX:03-3560-8441 <http://www.csaj.jp>

SaaS 提供事業を始めるために必要だった投資金額（開発、広告、宣伝費等含む）

Q10. SaaS提供事業を始めるために必要だった投資（開発、広告宣伝費等を含む）はどのくらいですか。以下の選択肢からひとつ選んで下さい。

A 1,000万円未満	13
B 1,000万円～3,000万円未満	9
C 3,000万円～5,000万円未満	5
D 5,000万円～1億円未満	2
E 1億円～3億円未満	3
F 3億円以上	1



SaaS 提供事業の採算状況（単月単位） [SaaS 事業実施企業限定]

Q16. SaaS提供事業の採算状況（単月単位）について、以下の選択肢からひとつ選んで下さい。（SaaS事業を実施されている方限定）

A 採算分岐点を超えている	4
B 概ね採算分岐点に達している	7
C まだ採算分岐点に達していない	15

